# 申請書様式１・２・３記入例

# （里地里山）

# 自然共生サイト申請書

| 接受番号　2024後- |
|---|

環境大臣　殿

西暦　2024　年　××　月　××　日

申請者の氏名又は団体名称

自然共生市

代表者氏名

自然　共生

「自然共生サイト」の認定審査を受けるため、次のとおり申請いたします。
なお、本申請書（様式１,２,３）の記入内容及び添付資料の内容について、事実と相違ないことを誓約いたします。

| サイト名 | 自然共生の里 |
|---|---|

## １．申請者情報（複数名の申請者が存在する場合は、代表者のみ記入。その他の申請者は別シートへ記入。）

| 複数名/単独の別 | | ☐　複数名での申請である　※別シートへ記入（クリック） |
|---|---|---|
| 申請者の情報（申請者が団体の場合）●複数の団体による申請の場合は、代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。 | 申請者(団体)の名称 | フリガナ シゼンキョウセイシ<br>自然共生市 |
| | 申請者(団体)の代表者氏名 | フリガナ シゼン　キョウセイ<br>自然　共生 |
| | 郵便番号・住所 | 〒 ×××-××××<br>○○県自然共生市○○　××-×× |
| | WebサイトURL | https://www.○○.jp |
| | 担当者の所属部署 | ○○部○○課 |
| | 担当者の氏名（フリガナ） | 環境　共生（カンキョウ　キョウセイ） |
| | 連絡先(ハイフン入り) | Tel:　××-××××-××××　　Mail:　○○@sample.jp |
| 申請者の情報（申請者が個人の場合）●複数人での申請の場合は、代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。 | 申請者氏名 | フリガナ |
| | 郵便番号・住所 | 〒 |
| | 担当者の氏名（フリガナ） | |
| | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　　Mail: |

## ２．統治責任者・活動責任者情報（複数名存在する場合は、代表者のみ記入。その他の個人/団体は別シートへ記入。）

| 複数名/単独の別 | | ☑　複数名の統治責任者が存在する　（全部で　3 名/団体）　※別シートへ（クリック） |
|---|---|---|
| 統治責任者（土地所有者）の情報●代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。 | 氏名/団体名 | フリガナ シゼンキョウセイシ<br>自然共生市 |
| | 郵便番号・住所 | 〒 ×××-××××<br>○○県自然共生市○○　××-×× |
| | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　××-××××-××××　　Mail:　○○@sample.jp |
| 複数名/単独の別 | | ☐　複数名の活動責任者が存在する　※別シートへ（クリック） |
| 活動責任者の情報●代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。 | 氏名/団体名 | フリガナ ＮＰＯホウジン○○<br>NPO法人○○ |
| | 郵便番号・住所 | 〒 ×××-××××<br>○○県自然共生市△△　×-× |
| | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　××-××××-××××　　Mail:　○○@sample.jp |

## 3. 確認事項

| 番号 | チェック項目 | | | チェック及び必要事項の記入 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | **申請者が該当する立場について** | 申請者、統治責任者、活動責任者が同一の場合 | ○ 申請者、統治責任者、活動責任者が全て同一である | |
| | | 申請者、統治責任者、活動責任者が同一ではない場合<br><br>（右の３つのいずれかの⊙にチェックを入れて、設問におこたえ下さい） | ◉ **申請者が統治責任者（土地所有者）の場合** | 活動責任者が自然共生サイトの申請に同意しているか<br>☑ **はい**　　☐ いいえ<br>「はい」の場合、同意の取得方法<br>（ ×年×月×日の定例打合せで活動責任者に説明を行い、同意書を取得。 ） |
| | | | ○ 申請者が活動責任者の場合 | 統治責任者（土地所有者）が自然共生サイトの申請に同意しているか<br>☐ はい　　☐ いいえ |
| | | | ○ 地方公共団体の長など申請区域を代表する者が申請する場合 | 統治責任者（土地所有者）及び活動責任者から同意を得ているか<br>☐ はい　　☐ いいえ |
| 2 | **活動の衡平性に疑念を感じさせる訴訟等の紛争は存在するか。（例えば、土地の権利関係や保護と開発の対立など）** | | | ◉ **存在しない**　○ 存在する |
| 3 | **申請区域・区域における活動に関連する法令条例を順守しているか。** | | | ◉ **はい**　○ いいえ<br>【関連法令（把握済の地域指定を伴う規制法）がある場合は以下に記入】<br>（ ） |

| | | |
|---|---|---|
| 4 | **申請区域と他区域との重複が存在するか。他区域の管理者に申請に関する同意等を得ているか。**<br>**（他区域とは、河川区域、砂防関係区域、海岸保全区域・一般公共海岸区域、漁港区域、漁業権区域（共同漁業権、区画漁業権及び定置漁業権区域）、保護水面及び港湾関係区域とする）**<br>**※港湾関係区域とは、港湾区域、港湾隣接地域、臨港地区、港湾法第２条第６項の規定により国土交通大臣の認定した港湾施設の区域及び開発保全航路の区域** | ※記入にあたっては、自然共生サイト認定申請書 解説（p.5-6）をご確認ください。<br>他区域との重複が存在するか<br>○ 存在しない：①に回答　　◉ **存在する：②と③に回答**<br><br>①他区域の管理者に重複の有無を確認したか<br>☐ はい　　☐ いいえ（重複の可能性なし）<br>「はい」の場合、他区域の種類、確認内容（確認した時期、他区域の管理者、内容など）<br>※複数の他区域と重複する場合は、区域ごとに記載すること<br><br>**②他区域のうち重複するものについて、管理者に確認の上、申請に関する同意等を得ているか**<br><br>☑ **はい**　　☐ いいえ<br>**「はい」の場合、他区域の種類、確認・同意等の内容（確認・同意等の時期、他区域の管理者、内容など）**<br>**※複数の他区域と重複する場合は、区域ごとに記載すること**<br><br>砂防関係区域（地すべり防止区域）：×年×月×日　○○県砂防課（担当：○○氏）に電話で申請区域・申請内容を説明し、申請に関する同意を得た。<br><br>**③他区域のうち重複しないものについて、管理者に重複の有無を確認したか**<br><br>☐ はい　　☑ **いいえ（重複の可能性なし）**<br>「はい」の場合、他区域の種類、確認内容（確認した時期、他区域の管理者、内容など）<br>※複数の他区域について確認した場合は、区域ごとに記載すること |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | **申請区域内において、現行・将来の開発計画はないか。** | ◉ **ない**　　○ ある |
| 6 | **統治責任者（土地所有者）・活動責任者が複数の者から構成される場合、関係者の意思疎通が図られる定期的な機会が設定されているか。**<br>○ **該当しない（統治責任者と活動責任者は同一である、または統治責任者（土地所有者）と活動責任者が異なるがいずれも単独の主体である）**<br>（右の質問の回答不要） | ◉ **はい**　　○ いいえ<br>「はい」の場合、その内容<br>（ 活動責任者とは、年2回の連絡会議で活動状況についての情報共有を行っている。申請者とともに統治責任者となっている○○××、○○△△とは、年に1回打合せを行い、情報共有・意見交換を行っている。 ） |
| 7 | **統治責任者（土地所有者）・活動責任者が法人・団体の場合、法人や団体が解散する予定がなく統治責任者（土地所有者）・活動責任者としての立場の期間が継続するか。**<br>○ **該当しない（統治責任者、活動責任者は個人である）**<br>（右の質問の回答不要） | ◉ **はい**　　○ いいえ<br>期限が存在する場合、その期限<br>（　　） |

## 4. 「認定後」の手続きに関する質問

| | | |
|---|---|---|
| a | 認定後、５年毎の更新時に、サイトの状況が分かる資料（モニタリング結果等）を提出いただく予定です。<br>※自然共生サイトの更新に必要な情報となります。 | ５年毎の更新時に、サイトの状況が分かる資料の提出に、<br>◉ **同意します。**　　○ 同意しません |
| b | 【環境省のHP】<br>認定を受けた「自然共生サイト」を30by30WEBページ等で公開する予定です。公開される情報の詳細はこちらを参照。<br>https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/ | 「自然共生サイト」を30by30WEBページ等で公開することに、<br>◉ **問題ありません**　　○ 一部公開を差し控えたい情報がある |
| c | 認定後、保護地域の重複を除いた区域をOECM国際データベースに登録させていただく予定です。 | OECM国際データベースへの登録に、<br>◉ **同意します。**　　○ 同意しません<br>「同意します」の場合、申請書様式３にもご記入ください。 |

| | | |
|---|---|---|
| 質問事項 | 申請者の30by30アライアンスへの参加状況<br>●申請者が複数である場合は代表者（１．に記載された申請者）についてご記入ください。代表者以外の申請者に参加のご意向がある場合には別途事務局にご連絡ください。 | ◉ **参加済**　　○ 未参加<br>□　認定後、参加予定<br>（※このチェックをもって、認定後に自動的に30by30アライアンスへ参加とします。別途参加申し込みは不要です） |

**色付きのセルは全てチェック/記入をお願いします。**

お使いのPC等の環境によって「はい」「いいえ」等のボタンの動作に不具合が生じる場合があります。その場合でも申請書類の取り扱いには影響しませんが、申請にあたりその旨を事務局にお知らせください。

# 暴力団排除に関する誓約事項

西暦　　2024　年　　××　月　　××　日

氏名又は団体名称

自然共生市

代表者氏名

自然　共生

下記事項について、申請書の提出をもって誓約いたします。
この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、官側の求めに応じ、役員名簿（有価証券報告書に記載のもの（生年月日を含む。））。ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名及び生年月日の一覧表）及び登記簿謄本の写しを提出すること並びに提出書類から確認できる範囲での個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

1．申請者並びに統治責任者、活動責任者及び関係者は次のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。
（1）申請者並びに統治責任者、活動責任者及び関係者として不適当な者
ア　法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77 号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
イ　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
ウ　役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
エ　役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき
（2）申請者並びに統治責任者、活動責任者及び関係者として不適当な行為をする者
ア　暴力的な要求行為を行う者
イ　法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
ウ　取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
エ　偽計又は威力を用いて会計課長等の業務を妨害する行為を行う者
オ　その他前各号に準ずる行為を行う者
2．暴力団関係業者を申請するサイトに関して締結する全ての契約の相手方としません。

3．申請するサイトに関して締結する契約の相手方が暴力団関係業者であることが判明したときは、当該契約を解除するため必要な措置を講じます。

4．暴力団員等による不当介入を受けた場合、又は申請するサイトに関して締結する契約の相手方が暴力団員等による不当介入を受けたことを知った場合は、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うとともに、事務局へ報告を行います。

以　上

自然共生サイト申請書（様式２）

| 接受番号 | 2024後- |
|---|---|

## １．サイトの基礎情報

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **サイト名称** | 日本語名 | 自然共生の里 | | |
| | 英語名 | Village of harmony with nature | | |
| **サイト住所** | ○○県自然共生市△△　×−××　 | | | |
| **サイト面積** | 200 ha | （うち、海域部分）0 ha | 保護地域との重複がある場合（把握している場合記入） | 重複部分の面積 0 ha |
| | 面積の換算方法： | ◉ GISによる面積計算 | ○ その他（　　） | |
| **申請者名** | 自然共生市 | | | |
| **統治責任者名** | 自然共生市、○○××、○○△△ | | | |
| **活動責任者名** | NPO法人○○ | | | |
| **連携団体・有識者名** | 【連携団体名・連携の内容】※他の団体（NPO や企業、地方公共団体等）との連携を行っている場合に記入<br>株式会社○○商事：蜂蜜のブランド化　　一般財団法人○○：モニタリング<br>○○旅行株式会社：エコツーリズムの開催<br><br>【有識者名・連携の内容】※有識者の協力を受けている場合は、協力頂いている有識者の所属・役職・氏名及び連携の内容をご記入<br>モニタリング計画の検討や結果を活動内容に反映するにあたって、○○大学○○准教授より学術的な見地からアドバイスをいただいている。<br>棚田の所有者が高齢のため、保全・利用等の活動はNPO法人○○により行われている。 | | | |
| **過去に取得した認定、表彰、資格等** | 「行ってみたい自然観光地100選」（20XX年） | | | |

## 1．サイトの基礎情報（区域図）

注：写真は不鮮明にしています

国土地理院「地理院地図（電子国土Web）」を加工

## 1．サイトの基礎情報（全体写真）

注：写真は不鮮明に加工しています

国土地理院「地理院地図（電子国土Web）」を加工

● 写真番号：1　　撮影日又は撮影年月：20XX年X月

## 2．サイトの概要

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **サイト概要** | 本サイトは、〇〇県自然共生市の中山間地域（標高0m～約200m）に位置し、二次林、水田（棚田）、ソバ畑、梅林といった里地里山の環境が形成されている。棚田では化学肥料や農薬の利用を抑えた環境保全型農業を行い、〇〇サンショウウオの生息も確認されている。<br>〇〇地域の代表的な里地里山の自然景観を有することから「行ってみたい自然観光地100選」に選定されており、地域団体と協力し定期的なエコツアーの開催や、市内の小学校の社会科見学の場としても利用されている。 | | | | | |
| **土地利用の変遷** | 本サイトの大半を占めるクヌギ・コナラの二次林は、薪炭林としての利用が1960年代頃から減退し、遷移が進んだ状態にある。ただし一部で祭事用の薪採取が今も続いている。本サイト中央部の水田（棚田）では2000年代に耕作放棄が進んだが、2010年代後半からNPO団体が生産活動を再開・維持している。ソバ畑、梅林も同じNPOの支援で維持されている。 | | | | | |
| **サイト周辺の環境** | 本サイト周辺には、同じくクヌギ・コナラの二次林や小規模な水田（棚田）からなる環境が広がっているが、近年は、二次林の管理減退や水田の耕作放棄が著しく進んでいる。 | | | | | |
| **アピールポイント** | 本サイトは里地里山の豊かな自然を体験できる場であり、生物多様性の大切さを観光客や一般の方に普及するため、動植物の観察会やツアーの受入れを積極的に行っている。今後は、共生サイトに認定されることで、蜂蜜その他周辺地域の農作物をブランドとして消費者に認知してもらい、生物多様性に対する社会的な関心を高めていくことに貢献したい。 | | | | | |
| **生物多様性の価値に対する脅威とその対応策** | 脅威 | サイト内の二次林の区域でシカによる樹木や下層植生の食害が見られる | 対応策の内容 | 区域によっては防護柵を設け、定期的に点検している | | |
| **その他の課題** | 申請サイトにおける保全・利用等の活動は、自然共生市等の土地所有者から委託されたNPO法人〇〇が運営しているが、慢性的に資金・人員が不足している。 | | | | | |
| **活動目的** | 本地域の自然と、地域における人と自然との関わり方を次世代に伝えるとともに、体験を通して生物多様性の大切さを普及することを目的とする。 | | | | | |
| **活動の開始年等** | 活動開始年： | 1960 年～ | 年間の活動期間： | 通年 | 活動計画の有無 | ◉ あり　〇 なし |

## 2.サイトの概要（生態系サービス）（任意（※ただし、価値４に該当する場合は必須））

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 申請区域が有している生態系サービスについて、チェックを入れてください(複数選択可) | | |
| 区域が有している生態系サービス | ☑ 供給サービス<br>食糧、水、木材、繊維、燃料　など | ☐ 調整サービス<br>気候調整、水質保全、病害虫抑制、防災・減災　など | ☑ 文化的サービス<br>精神的充足、美的楽しみ、ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ、教育的効果　など |
| | | | |
| 生態系サービスの概況 | 【供給サービス】<br>・棚田では米が生産され出荷されている。<br>・ニホンミツバチによる養蜂も行っており草地で栽培したソバの花から採蜜された蜂蜜と、サイト内の花々から採蜜された百花蜜を出荷している。<br>【文化的サービス】<br>・自然体験や農業体験（動植物の観察会、田植え体験など）を提供している。観光客を対象として定期的に催行しているエコツアー、また市内小学校の社会科見学や周辺地域の方々のレクリエーションにおいて利用されている。 | | |
| 脱炭素に関連する取組（あれば） | | | |

## 3.サイトの生物多様性の様子



### 価値（１）公的機関等によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場

**【選定されている制度名】**

環境省　重要里地里山　No.〇〇ー〇　名称：自然共生市の里地里山

**【選定理由や内容】**

選定理由（添付資料Xより引用）

自然共生市の北部において、長期間にわたり維持管理が行われてきた里地里山である。クヌギ・コナラ二次林や水田（棚田）のほか一部梅林やソバ畑などから構成され、現在もモザイク状の土地利用が維持されている。

この地域の里地里山に特徴的な〇〇サンショウウオや〇〇ヤンマといった希少種を含む多様な動植物も確認されている。

| ＜添付資料＞<br>※対応箇所や該当ページも記入ください | 申請区域が選定等を受けていることが分かる資料（Webサイトの写し等）を添付<br>添付資料X:環境省HP「生物多様性保全上重要な里地里山No.〇〇-〇」<br>https://www.env.go.jp/nature/satoyama/senteichi_ichiran.html |
|---|---|

注：写真は不鮮明に加工しています

写真番号：２　　写真の撮影年月：20xx年X月

写真の説明：申請区域内の水田（棚田）

写真番号：３　　写真の撮影年月：20xx年X月

写真の説明：〇〇サンショウウオ

## 3.サイトの生物多様性の様子

### 価値（2）原生的な自然生態系が存する場

**【場の概況】**原生的な自然生態系が存する場についての概況を記入。

本サイトの区域南西部の山稜付近には、スダジイなどからなる常緑広葉樹林の自然林が小面積であるが残されている。〇〇、〇〇などの動植物が確認されている。

**【主な植生】**http://gis.biodic.go.jp/webgis/　にて環境省の現存植生図は確認可能

申請区域内の自然林における植生はヤブコウジ－スダジイ群集、シラカシ群集、△△群集である。なお、区域全体ではクヌギーコナラ群集、ヤブツバキ群落、〇〇群落が優占している。

**【植生自然度】**植生自然度：http://gis.biodic.go.jp/webgis/files/vegetation_naturalness25000.pdf

植生自然度9

**【確認された主な動植物など】**

申請区域全体では植物X種、動物X種が確認されている。そのうち自然林の区域で確認されたのは植物X種、鳥類X種、哺乳類X種、爬虫類X種、昆虫類X種であり（添付資料X）、主な種は以下のとおりである。

植物：シュンラン（*Cymbidium goeringii*）、コオニユリ（*Lilium leichtlinii*）、△△（学名*xxxxx xxxxx*）

鳥類：クロツグミ（*Turdus cardis*、*成体*）、イカル（*Eophona personata*、*成体*）、××（学名*xxxxx xxxxx*）

昆虫類：エゾミドリシジミ（*Favonius jezoensis*、*成体*）、シロスジカミキリ（ *Batocera lineolata*、*成体*）、〇〇（学名*xxxxx xxxxx*）

| ＜添付資料＞<br>※対応箇所や該当ページも記入ください | 現存植生図、原生状態の維持が分かる資料、動植物種のリストなどを添付 |
|---|---|
| | 添付資料X:〇〇生物調査報告書（p.X自然林の区域において確認された動植物種の一覧） |

注：写真は不鮮明に加工しています

写真番号：4　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：申請区域南西部の自然林の林内

写真番号：5　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：林床に自生する〇〇ラン

## 3.サイトの生物多様性の様子

### 価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

**【場の概況】二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場についての概況を記入。**

本サイトでは、区域中央に水田（棚田）がみられ、その他大半の区域がクヌギ―コナラ二次林であり、その一部に梅林やソバ畑が見られるなど、現在もモザイク状の土地利用が残されている。〇〇、〇〇などの動植物が確認されている。

**【主な植生】**

申請区域内の自然林における植生はヤブコウジ－スダジイ群集、シラカシ群集、△△群集である。なお、区域全体ではクヌギーコナラ群集、ヤブツバキ群落、〇〇群落が優占している。

**【確認された主な動植物など】**

申請区域全体では植物X種、動物X種が確認されている。そのうち自然林の区域で確認されたのは植物X種、鳥類X種、哺乳類X種、爬虫類X種、昆虫類X種であり（添付資料X）、主な種は以下のとおりである。

植物：ナゴラン（*Sedirea japonica*）、コオニユリ（*Lilium leichtlinii*）、△△（学名*xxxxx xxxxx*）

鳥類：クロツグミ（*Turdus cardis*、*成体*）、イカル（*Eophona personata*、*成体*）、××（学名*xxxxx xxxxx*）

昆虫類：エゾミドリシジミ（*Favonius jezoensis*、*成体*）、シロスジカミキリ（ *Batocera lineolata*、*成体*）、〇〇（学名*xxxxx xxxxx*）

| ＜添付資料＞<br>※対応箇所や該当ページも記入ください | 動植物種のリスト、二次的な自然環境の維持に寄与する活動を説明した資料などを添付 |
|---|---|
| | 添付資料X:〇〇生物調査報告書（p.X水田・二次林で確認された動植物種の一覧） |

注：写真は不鮮明に加工しています

写真番号：6　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：水田（棚田）の様子

写真番号：7　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：水田（棚田）周辺で確認された〇〇

## 3.サイトの生物多様性の様子



**価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場**

**【場の概況】生態系サービスの提供の場についての概況を記入。**

本サイトの区域中央部の水田（棚田）は、コメの生産のほか、エコツアーや社会科見学等において田植え体験を提供している。棚田とその周辺の二次林は自然観察会で利用されている。棚田下部のソバ畑や梅林ではニホンミツバチを利用した養蜂も行われている。

**【主な植生】**

区域内における主な植生は、ヤブコウジ―スダジイ群集、クヌギ―コナラ群集、ダブノキ―ヤブニッケイ二次林である。

**【確認された主な動植物など】**

申請区域全体では植物X種、動物X種が確認されている（添付資料X）。主な種は以下のとおりである。

植物：コオニユリ（*Lilium leichtlinii*）、ヤマツツジ（*Rhododendron kaempferi*）、××（学名*xxxxx xxxxx*）

哺乳類：ホンドタヌキ（*Nyctereutes viverrinus viverrinus*、成体）、ホンドキツネ（*Vulpes vulpes japonica*、成体）、〇〇（学名*xxxxx xxxxx*）

鳥類：クロツグミ（*Turdus cardis*）、イカル（*Eophona personata*、成体）、コムクドリ（*Agropsar philippensis*、成体）××（学名*xxxxx xxxxx*）

爬虫類：ニホンカナヘビ（*Takydromus tachydromoides*、成体）、ジムグリ（*Euprepiophis conspicillata*、成体）、△△（学名*xxxxx xxxxx*）

両生類：タゴガエル（*Rana tagoi*、成体）、〇〇サンショウウオ（学名*xxxx xxxx*）××（学名*xxxxx xxxxx*）

昆虫類：エゾミドリシジミ（*Favonius jezoensis*、成体）、アオハナムグリ（*Cetonia roelofsi*、成体）、××（学名*xxxxx xxxxx*）

**＜添付資料＞**
**※対応箇所や該当ページも記入ください**

動植物種のリスト、・ 提供する生態系サービスの内容が分かる資料などを添付

添付資料X:本サイトのコメ・ハチミツ生産量（XX年～XX年）
添付資料X:田植え体験・自然観察会の開催記録（XX年度）
添付資料X:〇〇生物調査報告書（p.X申請区域内で確認された動植物種の一覧）

注：写真は不鮮明に加工しています

写真番号：８　　写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：棚田における田植えの様子

写真番号：９　　写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：ニホンスズメバチ

## 3.サイトの生物多様性の様子

### 価値（5）伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場

**【場の概況】伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場の概況を記入**

本サイトの大半の区域はクヌギーコナラの二次林である。薪炭林としての利用は1960年代頃に減退しているが、一部、棚田周辺の二次林では祭事（焚火祭り）で用いるための薪採取が現在まで毎年続いている。

**【伝統文化等の名称】**

〇〇神社「焚火祭り」

地元〇〇市内の〇〇神社で明治時代から行われている五穀豊穣を願う祭りで、〇〇市内で採取された薪を利用して境内の十数か所で焚火が行われる。2007年には100年祭が行われ、〇〇市無形文化財に指定されている（20XX年）。〇〇神社の信仰は明治時代以前から続いていたが、焚火祭りが行われるようになったのは1907年からとされている。

**【活用している自然資源】**

本サイトでは、焚火祭の薪材として使用するために棚田周辺の二次林から、樹齢X年～X年程度のコナラを伐採し、毎年X月にXkg程度の薪を奉納している。本サイトからの薪材の奉納は1980年代に始まっており、20XX年を除き毎年継続して供給している。

| ＜添付資料＞<br>※対応箇所や該当ページも記入ください | 自然資源が伝統文化に活用されていることが分かる資料などを添付 |
|---|---|
| | 添付資料X:〇〇市史第X巻第X章（p.X～p.X「〇〇神社焚火祭り」） |
| | 添付資料X:奉納書（令和X年X月X日） |

注：写真は不鮮明に加工しています

写真番号：10　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：焚火祭りの様子

写真番号：11　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：焚火祭りの薪として伐採されたコナラ

## 3.サイトの生物多様性の様子

### 価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

**【場の概況】希少な動植物種が生息生育している場の概況について記入。**

本サイトでは、水田（棚田）、クヌギ―コナラ二次林などで構成されたモザイク状の土地利用が残され、典型的な里地里山の環境が見られる。こうした里地里山の環境に特徴的な〇〇、〇〇などの希少な動植物種が確認されている。

**【確認された希少種】**

本サイト内では、主に棚田とその周辺の二次林の区域で、環境省レッドリストまたは〇〇県レッドリストに掲載された希少種として植物X種、鳥類X種、爬虫類X種、両生類X種、昆虫類X種が確認されている（添付資料X）。主な種は以下のとおりである。

・〇〇サンショウウオ（学名：*XXXX XXXX*、環境省レッドリストEN、〇〇県レッドリストEN）
毎年、〇〇サンショウウオの卵塊が２月ごろに確認され、成体も確認されている。初めて生物調査が行われたのが19XX年であり、以降19XX年と20XX年を除き毎年確認されている。（添付書類X参照）

・〇〇ヤンマ（学名：*XXXX XXXX*、〇〇県レッドリストVU）
棚田付近で成体が確認されている。〇〇サンショウウオと同じく19XX年から生物調査により確認されており、以降20XX年を除き毎年確認されている。（添付書類X参照）

| **＜添付資料＞**<br>**※対応箇所や該当ページも記入ください** | 動植物種のリスト（和名、学名、レッドリストのカテゴリ、ライフステージ（成虫、幼虫など）、調査手法（目視、ラインセンサス、自動撮影カメラなど）、調査/確認地点などの情報がわかる資料を添付 |
|---|---|
| | 添付資料X:申請区域内で確認された希少種の一覧 |
| | 添付資料X:〇〇サンショウウオの確認記録（20XX年～20XX年） |

注：写真は不鮮明に加工しています

写真番号：12　　写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：〇〇サンショウウオの卵塊

写真番号：13　　写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：〇〇ヤンマ

## 3.サイトの生物多様性の様子

**価値（7）分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場**

**【場の概況】生態に特殊性のある種が生息生育している場の概況について記入。**

**【確認された分布限定種、特異な環境へ依存する種】**

**＜添付資料＞**
**※対応箇所や該当ページも記入ください**

分布限定種、特異な環境へ依存する種の情報（種名、確認地点、繁殖の有無等）資料を添付

**当該価値に該当する**写真を添付

写真番号：　　写真の撮影年月：
写真の説明：

**当該価値に該当する**写真を添付

写真番号：　　写真の撮影年月：
写真の説明：

## 3.サイトの生物多様性の様子

### 価値（8）越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など、動物の生活史にとって重要な場

**【場の概況】**

申請サイト中央部の水田（棚田）とその縁辺の二次林は、サシバが繁殖・採餌する場となっている。水田（棚田）では、環境保全型農業（無農薬、冬期湛水）を実施している。

**【対象となる動物種とその動物種の生活史の内容】**

対象となる動物種：サシバ（学名：*XXXXXX*）。毎年X月～X月に本サイトに飛来しており、直近では本年X月X日に2個体（成体）を確認している（添付資料X）。

生活史の内容：申請サイトにおけるサシバの生活史は、繁殖と採餌である。
① 繁殖：20XX年以降の毎年、水田（棚田）縁辺の二次林にある中・大径のマツ等に１つがいが営巣・抱卵・給餌し、20XX年を除き巣立ちの成功を確認している。20XX年の調査で確認された毎年の営巣木の位置（20XX年～20XX年）、営巣時の写真は添付資料Xのとおりである。
② 採餌：主に水田（棚田）において主にカエル類（〇〇ガエル等）、ヘビ類（〇〇ヘビ等）、バッタ類などの捕食が確認されている。20XX年の調査において、サシバによる捕食が確認された動物は添付資料Xのとおりである。

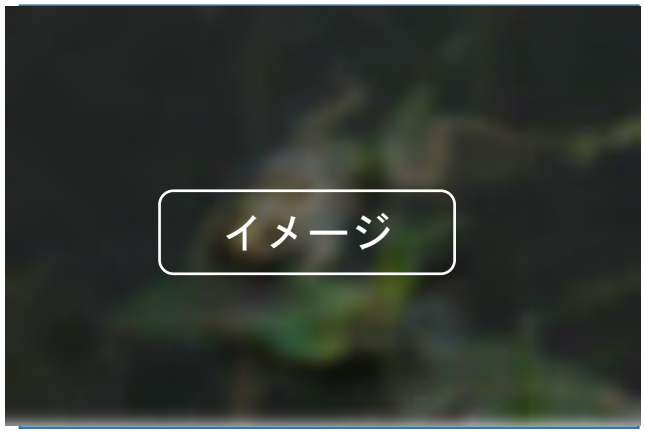
サシバの繁殖・採餌は申請サイトの水田（棚田）と二次林に依存しているが、周辺地域で耕作放棄等が進んでいるため申請サイトは貴重な環境と考えられる（添付資料X）。

| ＜添付資料＞<br>※対応箇所や該当ページも記入ください | 対象となる動物種とその動植物の生活史に関する情報、資料、既存研究等を添付 |
|---|---|
| | 添付資料X:20XX年度サシバ生息調査報告書（営巣等確認の記録p.〇～p.〇、採餌p.〇、周辺地域の生息環境p.〇） |

注：写真は不鮮明に加工しています

写真番号：14　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：申請区域内を飛翔するサシバ




写真番号：15　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：サシバが捕食する〇〇カエル

## 3.サイトの生物多様性の様子

**価値（9）既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場**

**【場の概況】**

申請サイトの西側に隣接して〇〇国立公園（特別地域、普通地域）が指定されている。申請区域が〇〇国立公園特別地域と隣接している部分のスダジイ等の自然林である。

**【主な植生】**

国立公園特別地域との隣接部分の植生は主に〇〇群集、〇〇群集、〇〇群集であり、ウラジロガシやスダジイの自然林である。その周辺の申請区域内の植生は〇〇群集などであり、クヌギ・コナラの二次林である。

**【隣接・接続する保護地域等】**

〇〇国立公園（第１種特別地域、普通地域）

**【緩衝機能や連続性・連結性の機能】**

申請サイトは、区域西部で〇〇国立公園に隣接している(右図）。〇〇国立公園は常緑広葉樹自然林の景観等を保護しており、申請サイトの自然林・二次林は、国立公園から約Xkm程度の緩衝幅で（添付資料X）、〇〇市中心部方面からの人間活動に対する緩衝機能を有している。

また、申請サイトの区域南西部には小面積のスダジイ等の自然林が残存している。〇〇国立公園第１種特別地域と同じ植生が連続して分布しており（添付資料X）、申請サイトは常緑広葉樹の自然林の連続性を高める機能を有している。

| ＜添付資料＞<br>※対応箇所や該当ページも記入ください | 隣接する保護地域を含む植生図、連続性・連結性を高める機能を有することがわかる資料等を添付 |
|---|---|
| | 添付資料X:申請区域と〇〇国立公園の位置関係図 |
| | 添付資料X:申請区域及び〇〇国立公園を含む植生図 |

注：写真は不鮮明に加工しています

図の説明：申請区域と〇〇国立公園との位置関係図

出典：環境省資料より作成

写真番号：16　　写真の撮影年月：20XX年X月

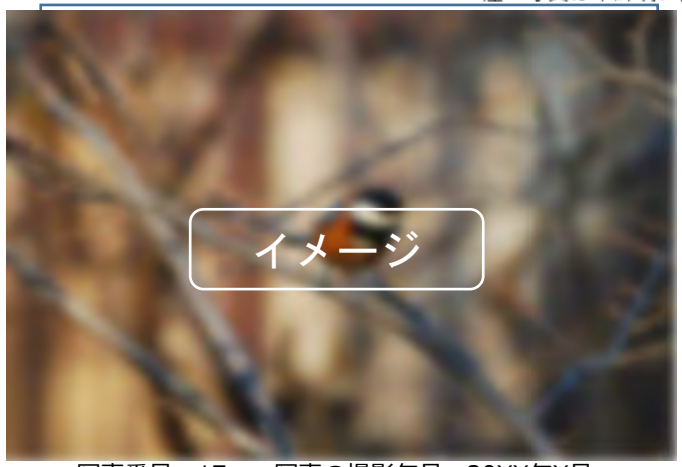
写真の説明：申請区域南西部の自然林の林内

## 4．サイトの活動計画・モニタリング計画

| 活動計画の内容 | モニタリング計画の内容 |
|---|---|
| **【活動計画の内容】**<br>**＜活動目的＞**<br>本地域の自然と、地域における人と自然との関わり方を次世代に伝えるとともに、体験を通して生物多様性の大切さを普及すること。<br><br>**＜活動内容＞**<br>申請区域を①二次林ゾーン、②棚田ゾーン、③自然林ゾーンに分けて、上述の価値(1)～(6)、(8)、(9)の保全に貢献するよう以下の保全・利用活動を行う。<br>**①二次林ゾーン**：このゾーンでは、〇〇〇や〇〇〇が生息している場所、農業用水を得られる場所として、間伐や下草刈りなどの森林管理を旨とするほか、薪材等の限定的な利用を行う（価値(1),(3),(4),(5),(6)）。<br>**②棚田ゾーン**：水田等として毎年農業を継続する。水生昆虫やサシバなどに配慮して減農薬栽培を引き続き行う（価値(1),(3),(4),(6),(8)）。<br>**③自然林ゾーン**：基本的に自然の成り行きにまかせ、人為的な介入は行わない（価値(2),(9)）<br><br>**＜実施体制、計画の点検・見直し＞**<br>NPO法人〇〇が中心となってこれら保全・利用活動その他維持管理作業を行う。ニホンジカの食害対策等は専門家の助言を得る。<br>本活動計画は2年に1回点検するとともに、5年に1回程度改定。<br><br>**＜添付資料＞**<br>**※対応箇所や該当ページも記入ください**<br>添付資料X　自然共生の里活動計画書（20XX年～20XX年） | **【モニタリング対象】**<br>鳥類、両生類、昆虫類、植物を対象とする。<br><br>**【モニタリング場所】**<br>①二次林ゾーン：二次林内に設定したルート沿い<br>②棚田ゾーン：5地点<br>③自然林ゾーン：自然林内に設定したルート沿い<br>**【モニタリング手法】**<br>①二次林ゾーン：鳥類は目視・鳴き声確認、植物は直接観察<br>②棚田ゾーン：昆虫類・両生類を直接観察または採取<br>③自然林ゾーン：鳥類は目視・鳴き声確認、植物は直接観察<br>**【モニタリングの実施時期、頻度】**<br>・基本的には2年に1度の頻度で実施。<br>・モニタリング実施年の2月、4月、5月、8月、11月に実施。<br><br>**【モニタリング実施体制】**<br>NPO法人〇〇の職員が中心となって実施。市民参加型モニタリングも実施。種同定や分析、計画立案の助言は有識者（〇〇大学〇〇准教授）に依頼。<br><br>**＜添付資料＞**<br>**※対応箇所や該当ページも記入ください**<br>添付資料X　自然共生の里モニタリング計画書（20XX年～20XX年） |

## 5. 追加写真用シート（任意）

注：写真は不鮮明に加工しています




写真番号：17　　写真の撮影年月：20XX年X月

写真の説明：申請区域内の二次林でみられる○○

## 6．写真の撮影位置

## 7. サイトの追加情報（任意）

伝えたい情報などあれば、自由に記載ください。（最大３枚程度）

伝えたい情報などあれば、自由に記載ください。（最大３枚程度

伝えたい情報などあれば、自由に記載ください。（最大３枚程度）

自然共生サイト申請書（様式３）

# 自然共生サイトのOECM登録に係る質問事項

| 接受番号 | 2024後- |
|---|---|

様式１の4.cで同意いただいている場合、自然共生サイトとして認定された後に、申請いただいた区域のうち既存の保護地域（自然公園等）を除いた範囲がOECMとして国際データベースに登録される予定です。
この際に、本様式３でご回答いただいた内容は国際データベースに掲載されます。
なお、国際データベースは以下webページで公開されているので、必要に応じて、あらかじめ内容をご確認ください。
（https://www.protectedplanet.net/en/thematic-areas/oecms?tab=OECMs）

**＜ご回答の前に＞**

申請区域と保護地域との重複状況についてご確認ください。

◯ **申請区域の全部が保護地域内に含まれる**（サイト面積と保護地域との重複面積が等しい）
：**国際データベース登録は行いませんので、以下１～５へのご回答は不要**です。
◉ 以下のどれかに該当する
・**申請区域は保護地域と重複しない**、または**保護地域との重複はあるが完全には含まれない**
（保護地域との重複面積が０ha、または サイト面積＞保護地域との重複面積）
・**重複状況はわからない**
：**以下１～５にご回答ください**。

【再掲】様式２にご記入いただいたサイト面積と保護地域との重複面積

| サイト面積 | 保護地域との重複面積 |
|---|---|
| 200 ha | 0 ha |

**１．サイト名称（必須）**

国際データベースに掲載するサイト名をご記入ください。
※特に問題がなければ、様式１・２に記載したものと同じサイト名称をご記入ください。なお、基本的には、ご記入内容がそのまま国際データベースに掲載されますので、ご注意ください。

| サイト名称【日本語】　※最大80文字 |
|---|
| 自然共生の里 |
| サイト名称【英語】　※最大254文字 |
| Village of harmony with nature |

**２．活動責任者名（任意）**

国際データベースに掲載する活動責任者名（団体名または個人名）をご記入ください。
※可能ならば英語でもご記入ください。
※国際データベースへの掲載を希望しない情報は、空欄のままでかまいません。

| 活動責任者名【日本語】　※最大80文字 |
|---|
| NPO法人〇〇 |
| 活動責任者名【英語】　※最大254文字 |
| NPO XX |

**３．国際データベースに掲載する活動計画のページ（任意）**

活動計画を掲載しているwebページのリンク（URLのみ）を１つだけご記入ください。
※英語のページが望ましいですが、日本語のページでも問題ございません。
※国際データベースへの掲載を希望しない場合や、該当するページが存在しない場合は、空欄のままでかまいません。

| 活動計画を掲載しているページURL　※最大254byte |
|---|
| https://www.XX.jp |

**４．国際データベースに掲載する活動紹介のページ（任意）**

活動を紹介するwebページのリンク（URLのみ）を１つだけご記入ください。
※英語のページが望ましいですが、日本語のページでも問題ございません。
※国際データベースへの掲載を希望しない場合や、該当するページが存在しない場合は、空欄のままでかまいません。

| 活動を紹介するページURL　※最大254byte |
|---|
| |

**５．サイトの活動目的（任意）**

サイトの活動目的について、以下のうちより当てはまるものをご選択ください。

◯活動目的について、国際データベースへの掲載を希望しない場合等はこちら

◯ Ⅰ．生物多様性保全を主目的とするもの
例）ナショナルトラスト、バードサンクチュアリ、ビオトープ
◉ Ⅱ．生物多様性保全を主目的としないもの
例）企業の森、自然観察の森、里地里山、森林施業地、水源の森、社寺林、企業敷地内の緑地、屋敷林、緑道、都市内の緑地、風致保全の樹林、都市内の公園、研究機関の森林、遊水池、河川敷、水源涵養や炭素固定・吸収目的の森

**＜OECM国際データベース登録にあたっての留意点＞**

以下について、あらかじめご了承ください。
・今後、精査を進めた結果、**保護地域内に申請区域全域が含まれる場合には、国際データベースへの登録は行いません**。
・国際データベースに登録する各サイトの面積は、本申請書様式２に記載いただいた面積を基本としますが、保護地域との重複を差し引く等により、**登録面積と申請書記載の面積が異なることがあります。**
・審査の結果、自然共生サイトとして**認定見送りとなった場合には、国際データベースへの登録は行いません**。

# 統治責任者（土地所有者）複数名/団体用 記入シート

**代表者以外の複数の統治責任者情報については以下の欄にご記入下さい。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 統治責任者2 | 統治責任者の情報 | 氏名/団体名 | フリガナ　シゼン　カンキョウ<br>自然　環境 |
| | | 郵便番号・住所 | 〒 890-1234<br>〇〇県自然共生市〇〇　ＸＸ−Ｘ |
| | | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　XX-XXXX-XXXX　Mail:　kankyo@sample.jp |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 統治責任者3 | 統治責任者の情報 | 氏名/団体名 | フリガナ　カンキョウ　シゼン<br>環境　自然 |
| | | 郵便番号・住所 | 〒 123-4567<br>〇〇県自然共生市〇〇　Ｘ−ＸＸ |
| | | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　XX-XXXX-XXXX　Mail:　shizenn@sample.jp |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 統治責任者4 | 統治責任者の情報 | 氏名/団体名 | フリガナ |
| | | 郵便番号・住所 | 〒 |
| | | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　Mail: |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 統治責任者5 | 統治責任者の情報 | 氏名/団体名 | フリガナ |
| | | 郵便番号・住所 | 〒 |
| | | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　Mail: |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 統治責任者6 | 統治責任者の情報 | 氏名/団体名 | フリガナ |
| | | 郵便番号・住所 | 〒 |
| | | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　Mail: |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 統治責任者7 | 統治責任者の情報 | 氏名/団体名 | フリガナ |
| | | 郵便番号・住所 | 〒 |
| | | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　Mail: |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 統治責任者8 | 統治責任者の情報 | 氏名/団体名 | フリガナ |
| | | 郵便番号・住所 | 〒 |
| | | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　Mail: |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 統治責任者9 | 統治責任者の情報 | 氏名/団体名 | フリガナ |
| | | 郵便番号・住所 | 〒 |
| | | 連絡先（Tel, Mail） | Tel:　Mail: |